



ケース・スタディ生命倫理と法

第2版 (ジュリスト増刊)

樋口 範雄 (編著)

有斐閣 32002 円+税

医療のために、法ができることを考えよう。

生命倫理の諸問題に対する法によるアプローチのあり方を、主要トピックごとに検討。

医療分野と法分野双方からの考察を通じて理解を深めることができる。

法改正に伴い臓器移植の項は内容を改め、脳神経科学をはじめ生命倫理と法に関わる最新動向もカバーした。

- case1 遺伝病の告知
- case2 医療事故情報の警察への報告
- case3 終末期医療のあり方—延命治療に関する判断枠組み
- case4 医業独占—救急救命士と医療行為
- case5 生殖補助医療の規制問題
- case6 患者の権利・胎児へのリスク
- case7 知的障害者の不妊手術
- case8 看護師の良心と弁護士役割
- case9 人体試料・遺体・検体の取扱い
- case10 臨床研究・臨床試験のあり方
- case11 臓器移植と脳死をめぐる問題
- case12 血液製剤と限られた資源の配分問題
- case13 脳神経科学と法
- case14 再生医療と法
- case15 自己決定権